

関西聚 活動報告書

活動名:自然学習ゾーン整備

活動日:2019.7.27(土) 13:30~15:00

リーダー名: 伊東 俊廣

報告者: 伊東 俊廣

参加者:(一般参加者0人 美交工業 1人 スタッフ 4人 合計5人)

スタッフ:大川 英登、東川 徳、岩崎 和子、伊東 俊廣

参加者

活動内容 :「カブトムシの放虫」

1. カブトムシ飼育箱の成虫確認

1)7月13日に確認した、飼育箱の成虫数

オス:11匹、メス:15匹

2)本日(7月27日)の飼育箱の成虫数

オス:2匹、メス:9匹

2. 放虫作業

1) 飼育箱に戻した成虫

オス:2匹、メス:4匹

2) 放虫した成虫(学習ゾーンのカブトムシの寢床、No.1に放虫)

メスのみ5匹

3. 自然学習ゾーンの状況

1) ヤマザクラ2本の内、1本が枯死

2) ワルナスビがかなり進出している

3) ナルトサワギク(特定外来種)が1株咲いていた

活動報告・感想など

珍しく台風襲来の活動日となった。レッツ久宝探検隊は夕方からのイベント(セミ羽化観察会)なので、開催を期待してスタッフ方には現地まで待機をお願いした。家を出る時は降っていなかったが、久宝寺駅に着くとどしゃ降りの雨。

管理事務所からレッツ久宝探検隊を開催か否かの判断を求められ、結局中止を決定した。自然学習ゾーンの活動は雨が小降りになるのを待って行った。カブトムシの成虫は2週間前の確認からかなり減っており、卵が沢山産んであることを期待したい。飼育箱には2つがいとメス2匹を戻し、残りのメスは自然学習ゾーンの寢床へ放した。

自然学習ゾーンのカブトムシの寢床は、かなり崩れてきており、これからの活動で枠を新しくし、内部が堆肥化されているかもチェックする予定。この中に幼虫を入れて自然に育てていくようにしたい。